

◆ サービス概要

『“首都圏住宅地初” 車いすやベビーカー利用者、高齢者に市内の安心・安全な移動支援を実現するサービス』

サービス対象

● 狛江市民（高齢者／ファミリー層／若年層） ● 車いす利用者 ● 障がい者 ● ベビーカー利用

サービスの特徴

コミュニティバスの利用増進に資する歩行者移動支援サービスのあり方

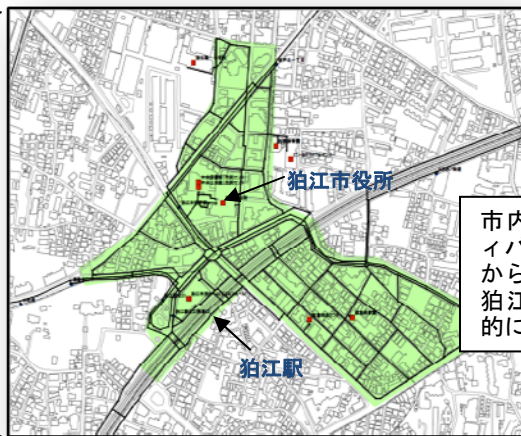
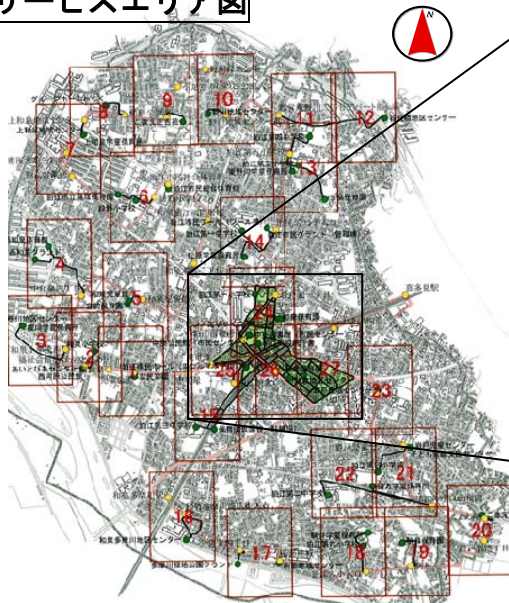
◆ 協議会メンバー

協議会関係者	役割
地方自治体(狛江市)	○位置特定技術の設置場所、設置するうえでの助言 ○バリア情報の提供 ○既定計画との整合 ○サービスの利用における留意事項等の確認 等
関連企業(コミュニティ・クリエイション)	○協議会事務局
交通事業者(小田急バス)	○鉄道やバス等の移動支援に関する運行情報の連携 ○駅やバス停等の場所での情報提供支援 等
地域関係者	役割
NPO 連絡協議会、ボランティアセンター	○バリア情報の提供 ○提供コンテンツの収集・作成 等
観光協会・商工会等	○地域の観光資源情報の提供 等
事業実施者	各関係者に求められる役割
システム開発(ユーシーテクノロジー)	○サービスの企画・開発・運用サポート○提供コンテンツの作成 等
コーディネーター(NPO サポートセンター)	○地域の人材発掘 ○提供コンテンツの収集 等 ○サービスの広報周知 ○サービスの運用主体育成

◆ 経緯・スケジュール

H25 年度：ユニバーサル社会に対応した歩行者移動支援に関する現地事業実施箇所へ選定（H25.5 月）  
 第 2 回協議会開催（H25.9）、第 3 回協議会開催（H25.10）以降月 1 回程度開催  
 ボランティアのつどい参加（H25.10）、狛江市民まつり参加（H25.11）  
 実証実験開始（H26.1 予定）  
 サービス公開・運用開始（H26.2～予定）

◆ サービスエリア図



市内を循環するコミュニティバス「こまバス」のバス停から主要施設までの道案内  
 狛江駅周辺については重点的にデータ作成予定

狛江駅周辺地区（約 0.19km<sup>2</sup>）

【左図】 狛江市内全域の駅・バス停～施設間でサービス提供



◆ サービスの先進性

市民力を高めるユニバーサル社会を育む

- コミュニティバス「こまバス」と連携した市内全域の移動支援（UC テクノロジー）
- 市民がアプリを育む、運営主体の組成(NPO サポートセンター)